



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社フコク 上場取引所 東
 コード番号 5185 URL <https://www.fukoku-rubber.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大城 郁男
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 山崎 行雄 (TEL) 048-615-4400
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	42,950	10.2	1,059	29.6	1,390	△23.2	1,047	△28.7
2023年3月期第2四半期	38,971	6.3	817	△55.1	1,811	△14.8	1,470	△8.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,897百万円(△36.7%) 2023年3月期第2四半期 4,579百万円(78.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	65.03	—
2023年3月期第2四半期	91.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	74,859	40,421	50.8
2023年3月期	71,530	37,952	49.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 38,044百万円 2023年3月期 35,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	27.00	—	23.00	50.00
2024年3月期	—	27.50			
2024年3月期(予想)			—	27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	6.9	3,900	94.0	4,000	27.4	2,900	35.8	180.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	17,609,130株	2023年3月期	17,609,130株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,493,432株	2023年3月期	1,500,004株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	16,110,049株	2023年3月期2Q	16,097,851株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、行動制限や海外渡航制限等も緩和され、経済活動が正常に向かい景気の回復が期待されました。しかしながら、国際的な情勢不安の長期化や、資源価格高騰による物価上昇が続いており、金融資本市場の変動等も相まって先行き不透明な状況が続いております。

自動車業界においては、需要が高い水準を維持しており、また半導体の供給不足については復調傾向にあります。

このような経済情勢の下で、当社グループにおいては、円安の影響により円換算時の収益増がありました。自動車メーカーの生産調整の影響による操業度の低下、中国における景気低迷、資源価格高騰による原材料費等の上昇が、損益に影響を与える状況となっております。

当第2四半期連結累計期間の業績については、自動車メーカーの生産調整による減収の影響を受けましたが、為替の影響により、連結売上高は前年同期比10.2%増の429億50百万円となりました。営業利益は、原材料費や燃料費の上昇の影響を合理化や売価反映等により吸収し、前年同期比29.6%増の10億59百万円、経常利益は前年同期にて子会社が所有する固定資産の売却益等、一過性の収益が発生したことにより同23.2%減の13億90百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期にて、当社の退職給付制度変更による退職給付制度終了益等、同様に一過性の収益が発生したことにより同28.7%減の10億47百万円となりました。

なお、前年同期の一過性の収益を除いて比較しますと、経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を上回っております。

セグメントの経営成績は次のとおりです。

機能品事業

売上高は、自動車メーカーの生産調整による操業度低下がありましたが、為替換算の影響により、前年同期比8.2%増の174億43百万円となりました。セグメント損益については、合理化効果や原材料価格等の上昇を売価に反映したことにより、前年同期比20.8%増の15億16百万円の利益となりました。

防振事業

売上高は、東南アジア、米国での需要増加及び為替換算の影響により、前年同期比13.4%増の182億72百万円となりました。セグメント損益については、合理化効果や金具鋼材費の上昇を売価に反映したことにより、前年同期比22.0%増の8億36百万円の利益となりました。

金属加工事業

売上高は、建設機械向けの受注好調により、前年同期比13.7%増の34億95百万円となりました。セグメント損益については、合理化効果や金具鋼材費の上昇を売価に反映したことにより、33百万円の利益となりました（前年同期は21百万円の損失）。

ホース事業

売上高は、受注が好調なことを受けて、前年同期比9.9%増の26億33百万円となりました。セグメント損益については、北米における製品保証関連費用追加計上等により、前年同期比94.3%減の3百万円の利益となりました。

産業機器事業

売上高は、国内での医療製品の受注が好調であったものの、中国及び東南アジアでのOA製品の需要低下等により、前年同期比3.3%減の15億33百万円となりました。セグメント損益については、合理化を実施したものの、前年同期比10.7%減の2億49百万円の利益に留まりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ33億29百万円増加し、748億59百万円となりました。

流動資産は前期末に比べ23億91百万円増加し、449億20百万円となりました。これは主に、為替換算の影響による受取手形及び売掛金の増加等によるものです。

固定資産は前期末に比べ9億37百万円増加し、299億39百万円となりました。これは主に、為替換算の影響や有形固定資産の取得及びソフトウェアなどの無形固定資産の増加等によるものです。

負債は前期末に比べ8億59百万円増加し、344億37百万円となりました。これは主に、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、電子記録債務の未決済額が四半期連結会計期間末日残高に含まれていることによるものです。

純資産は前期末に比べ24億69百万円増加し、404億21百万円となりました。これは主に、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末に比べ1.0ポイント増の50.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ウクライナ情勢の長期化に加え中東情勢の悪化等、不安定な海外情勢、世界的な金融引き締めに伴う為替の変動、資源価格高騰等による値上げの傾向が顕著となり、今後の経済情勢の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、2023年6月28日に発表しました「新中期経営計画2026」を達成すべく全社一丸となって「既存事業の強化」と「成長事業・新事業の拡大」の事業戦略の両輪に加え、ESGの各観点を重視した経営基盤の改革に取り組むことによって「収益力の最大化」を狙います。

なお、2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月15日発表の数字に変更はございません。

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、上記予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,972	11,314
受取手形及び売掛金	19,731	20,791
商品及び製品	5,858	5,850
仕掛品	1,322	1,422
原材料及び貯蔵品	3,872	3,847
その他	1,802	1,728
貸倒引当金	△31	△33
流動資産合計	42,528	44,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,278	8,661
機械装置及び運搬具(純額)	9,615	9,704
土地	5,996	6,141
その他(純額)	2,005	1,996
有形固定資産合計	25,896	26,505
無形固定資産	1,406	1,630
投資その他の資産		
投資有価証券	824	922
その他	874	881
投資その他の資産合計	1,699	1,804
固定資産合計	29,001	29,939
資産合計	71,530	74,859

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,459	5,098
電子記録債務	5,330	6,092
短期借入金	9,800	10,333
未払法人税等	383	388
賞与引当金	753	803
その他	4,618	4,889
流動負債合計	26,345	27,606
固定負債		
長期借入金	3,178	2,655
退職給付に係る負債	1,314	1,470
役員退職慰労引当金	173	184
その他	2,565	2,520
固定負債合計	7,232	6,831
負債合計	33,577	34,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395	1,395
資本剰余金	1,573	1,575
利益剰余金	30,969	31,646
自己株式	△1,403	△1,397
株主資本合計	32,534	33,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108	160
繰延ヘッジ損益	△7	△42
為替換算調整勘定	2,983	4,705
その他の包括利益累計額合計	3,084	4,824
非支配株主持分	2,333	2,377
純資産合計	37,952	40,421
負債純資産合計	71,530	74,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	38,971	42,950
売上原価	32,918	36,304
売上総利益	6,052	6,645
販売費及び一般管理費	5,235	5,585
営業利益	817	1,059
営業外収益		
受取利息	20	37
受取配当金	3	3
持分法による投資利益	5	18
為替差益	410	385
固定資産売却益	458	17
その他	250	119
営業外収益合計	1,150	582
営業外費用		
支払利息	52	120
固定資産除却損	76	74
その他	27	56
営業外費用合計	156	251
経常利益	1,811	1,390
特別利益		
投資有価証券売却益	2	—
退職給付制度終了益	554	—
特別利益合計	557	—
特別損失		
訴訟関連損失	10	—
特別損失合計	10	—
税金等調整前四半期純利益	2,358	1,390
法人税、住民税及び事業税	448	447
法人税等調整額	387	△75
法人税等合計	835	371
四半期純利益	1,522	1,018
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	52	△29
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,470	1,047

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益	1,522	1,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	52
繰延ヘッジ損益	△13	△39
為替換算調整勘定	3,010	1,839
持分法適用会社に対する持分相当額	61	26
その他の包括利益合計	3,056	1,878
四半期包括利益	4,579	2,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,293	2,787
非支配株主に係る四半期包括利益	285	109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能品	防振	金属加工	ホース	産業機器			
売上高								
外部顧客への売上高	15,847	16,115	3,073	2,350	1,585	38,971	—	38,971
セグメント間の 内部売上高又は振替高	275	2	0	46	—	324	△324	—
計	16,122	16,117	3,073	2,396	1,585	39,295	△324	38,971
セグメント利益 又は損失(△)	1,255	685	△21	58	278	2,257	△1,440	817

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,440百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,441百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能品	防振	金属加工	ホース	産業機器			
売上高								
外部顧客への売上高	17,073	18,269	3,495	2,578	1,533	42,950	—	42,950
セグメント間の 内部売上高又は振替高	370	3	0	55	—	429	△429	—
計	17,443	18,272	3,495	2,633	1,533	43,379	△429	42,950
セグメント利益	1,516	836	33	3	249	2,639	△1,580	1,059

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,580百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,578百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。